



軽快なフットワークが光る

白球に全神経 集中

第20回町民卓球大会 10回連続出場者表彰

第20回町民卓球大会が6月30日、海洋センター体育館で行われました。

開会式で宇野克彰町体育協会会長は、「この大会も町民体育祭(10月)の得点に影響しますから、各ブロックとも精一杯がんばってください」とあいさつ。続いて、第4ブロックの武井まり

子さんが、選手宣誓を行い試合が始まりました。参加した選手のみなさんは、試合の合間をぬって猛練習。ちよつと不安そうな声も聞かれましたが、軽快なフットワークで全神経を白球に打ち込んでいました。

●大会結果(敬称略)

個人戦(内はブロック)

男子の部

優勝 清水 幸(8)

準優勝 貞松 雅人(7)

第3位 川島 利秀(10)

川島 重昭(10)

女子の部

優勝 布施 洋子(4)

準優勝 伊藤 忍(5)

第3位 守屋とき子(7)

柳橋 啓代(2)

団体戦

優勝 3ブロック

(小堤・曾根合・寺

方・於幾・坂田)

準優勝 4ブロック

(上町)

第3位 13ブロック

(大島団地)

10回連続出場表彰者

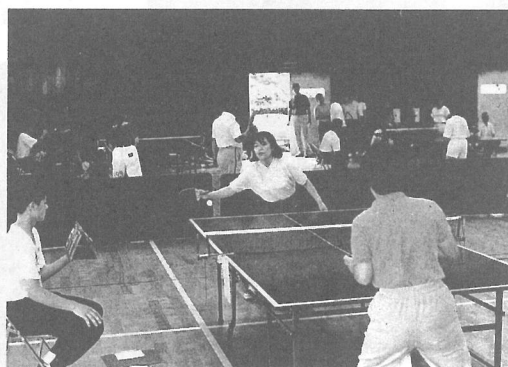
(敬称略)

奥地 義典(栗山)

鈴木 キミ(上町)

平山 好子(坂田)

守屋とき子(栗山)



卓球大好きです

第20回という記念すべき大会ということから、10年間連続して出場した4人の方々が表彰されました。

なかでも、鈴木キミさん(75歳上町)は、第1回大会から20回連続出場。「卓球が大好きで、学生時代は勉強するのも忘れ卓球ばかりしていました。もう60年以上続けているんです。週に一度は市川市まで練習に出かけていますが、好きなことから苦にはなりません。」と楽しそうに話してくださいました。



文芸

短歌

三畳の書齋に大きき窓大日本史を編まれたる部屋

土屋 五六

いたづらをせし日もありき蟻の穴に殺虫剤を注しつと思ふ

永藤 滋

株分けをせねばと思ひるたりしが遺愛のらんの鉢割れるなり

吉岡 信子

雨つづく梅雨のひと日を独り居の叔母を訪ひ安らぎ語る

鈴木 やす

独り居の嬸が縁にすはりるて黄昏れどきの紫陽花見てあつ

中越美代子

ほどもなく還曆迎ふと息は言へり白き緋の姿たちくる

土屋 栗水

小判草のドライフラワー仕上がりて振ればかすかに風音たつる

西山満里子

身体には気をつけてよと末の娘が夕暮るる路を遠ざかりゆく

萩原 信一

叱られて寝入りし吾子の毛布よりすこしのぞける頭なでやる

八角 三枝